

患者さんへ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病理診断後、当院に保管されている検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] エゾウイルス感染症の臨床病理学的検討

[研究代表者名・所属] 市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕

[研究の背景と目的]

エゾウイルス（YEZV）は北海道で2019年に発見された新規ナイロウイルスであり、マダニ媒介性に急性の熱性疾患を引き起こす病原ウイルスであると考えられています。マダニの活動が活発になる春～夏にかけて今後も患者が発生する可能性があります。YEZV感染症は発見からまだ2年半しか経過していないため、病気に関する情報が不足しています。そこで、当院に保管されている検体を用いて後方視的調査を実施し、過去の罹患者を探索します。

[研究の方法]

1. 対象となる患者さん

当院で2009年4月1日～2021年3月31日の間に当院でマダニ刺咬が確認された患者さん、あるいは原因不明の高熱とリンパ節の腫れが確認された患者さん。

2. 利用するカルテ情報

- ・患者背景：性別、年齢、リンパ節腫脹の有無（部位）
- ・血液検査の結果：
 - ウイルス感染の指標となるもの（白血球数・血小板数）
 - 肝臓の損傷の指標となるもの（血清フェリチン値）
 - 筋肉での炎症の指標となるもの（血清クレアチニンキナーゼ値）

3. 利用するその他の試料

- ・マダニ刺咬歴のある皮膚生検あるいはリンパ節生検のパラフィンブロック（過去に診断目的に採取され、検査終了後から現在まで当院で保存されているものを用いさせていただきます。）
- ・病理プレパラート

[研究実施期間]

実施許可日～2023年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[当院の連絡窓口]

〒060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目1-1
市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕
電話：011-726-2211 FAX：011-726-9541